

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。皆さんの生活は充実していましたか？
まず何よりも全員が大きな事故もなく、新学期を迎えることができたことに感謝しています。

さて、依然として新型コロナウイルス感染症が学校現場にも大きく影響を与えています。夏休み中盤頃から本校関係者の感染の報告も増えています。改めて感染症対策に注意をしてください。専門家からは、「制御不能。災害レベルの非常事態」との指摘もあり、「自分の身は自分で守る」必要があります。

緑光祭を迎えるにあたり、皆さんと共にこの難局を乗り越えましょう。
保護者の皆さまには、引き続き健康管理に努めていただき、もし、お子様または同居するご家族が PCR 検査等を受けることになった場合には速やかにご連絡をお願いいたします。



「天災は忘れたころにやってくる」物理学者の寺田寅彦が語った言葉。

今年の夏も台風や大雨による土砂災害や河川の氾濫等による被害が各地で発生しました。アスファルト等に固められ、逃げ場を失った雨水が一気にあふれ出しているのも一因でしょう。また、世界に目を転じてみれば、山火事が多発しているようです。異常高温で乾燥した森が自然発火するケースもあり、国連は人類が排出した温室効果ガスが原因であると断定しています。

一度狂ってしまった自然サイクルは、短期間で元に戻ることはありません。これは、決して他人事ではありません。海面上昇で東京でも下町地区が影響を受けるでしょうし、日本全国の砂浜の9割が亡失してしまうという予測もあります。

振り返れば産業革命以降、我々人類の活動が地球全体を狂わせているといっても過言ではないでしょう。私が高校生の頃は、こんなに暑くなかったと記憶しています。ヒートアイランド、熱帯夜、猛暑日等はここ数年で頻繁に聞くようになり、データ上も気温は確実に上がっているようです、今や35度は当たり前、40度近くになることも。もう異常でしょ。

さて、災害ついでにもう一つ。日本は地震国。「地震・雷・火事・おやじ」といいます。

東北の大津波（東日本大震災）から10年、阪神・淡路大震災から約25年、関東大震災から約100年。喉元過ぎればではないけれど、あの時の教訓を忘れてはいやしませんか？ 今後、東京では30年以内にM7の地震が発生する確率は70%と予測されています。確実に地震は起こります。

ちなみに『関東大震災映像デジタルアーカイブ』が本日公開されました。

ぜひ、ご覧ください。<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/>

吉村昭の『関東大震災』も一読をおすすめします。



何事によらず、普段から安全のために、いざというときにどのような行動をとるか考えておくことが大切です。学校の施設や設備の管理は日頃から行っていますが、危険と思われる個所があれば申し出てください。

今日は「防災の日」。持続可能な社会づくりの視点から、ちょっと振り返ってみませんか。

【企画室前のハイビスカス】